

Management Information

連載 会計実務概論「病医院会計のすべて」

第 2 部 病院会計制度概論

第 9 章 損益計算書の内容

収益および費用

9-2 収益および費用の認識・測定の基準

9-2-1 費用収益の計上基準

(3) 実現主義

発生主義は、合理的な計上基準として考えられるが、現金主義が持つ確実性といった長所を失い、主観性や恣意性が介入するという欠点を持つ。とりわけ収益に関しての問題点として、その発生の事実の主観性・恣意性が介入することで、未実現の利益が計上されてしまうので、この問題点を回避する必要がある。そこで考えられた計上基準が実現主義という考え方である。

実現主義とは、(a) 財貨または用役を外部者に提供し、かつ (b) これと引き換えに現金または現金等価物（受取手形、売掛金）などを受け取った場合に収益を計上するという基準である。つまり、(a) いわゆる取引が発生したという発生主義的な側面と、(b) 現金または現金等価物の受取りという事実にもとづく現金主義的な側面の両者を持った計上基準である。病院会計準則では、医業収益は、実現主義の原則に従い、医業サービスの提供によって実現したものに限るとされている。つまり、(a) 医業サービスを提供し、(b) 現金または現金等価物の受取りによってはじめて医業収益が計上できる。

実現主義は、発生主義的な考えに現金または現金等価物の受取りという客観的な事実を用いたことで、主観性・恣意性を排除し、客観性が確保される。また現金または現金等価物の受取りという事実で収益計上するため、収益の見積もり計上などが排除されるため、未実現の利益が計上されることがないという長所を持つ。

病院会計準則では、次のような表現を用い、収益に関しては実現主義を適用することをもとめている。また、同時に未実現の収益は、損益計算に混入してはならないこともとめている。

【病院会計準則】

第 4 章 損益計算書原則

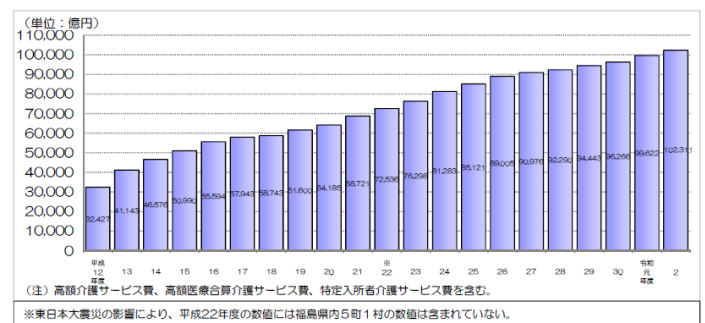
第 35 医業利益

3. 医業収益は、実現主義の原則に従い、医業サービスの提供によって実現したものに限る。

「介護保険事業状況報告(年報)」
発表

先日、厚生労働省は、2020 年度の介護保険事業状況報告を公表しました。この報告によると、2020 年度の介護費は、利用者負担を除いた給付費は 10 兆 2311 億円となりました。さらに高額介護サービス費等を含めた費用額は 11 兆 542 億円となり、「介護費 11 兆円時代」を迎えたと言っても良い状況です。2025 年には団塊の世代すべてが 75 歳以上の後期高齢者になるので、益々介護費は増加します。一方で少子化により介護業界も人手不足（既に慢性的な人手不足ですが）となり、現在よりも少ない人的資源で多くなる介護者を支えなければならない状況になります。さらに介護サービスはより一層高いレベルのサービスや結果を求められます。この点だけでも非常に厳しい業界であることが伺えます。

◆年度別給付費の推移（出典：厚生労働省資料）



このような状況を踏まえて心配なニュースも入りました。東京商工リサーチが、7月25日に「2022年上半期 老人福祉・介護事業」の倒産状況を発表しましたが、この報告によると、倒産は53件で、介護保険法が施行された2000年以降3番目の高い数字でした。要因としては、新型コロナウイルスの優遇融資などの各種支援策が一段落したこと。食料や光熱費などのコストが上昇したこと。新規の入居が少ないなどの販売不振。等が考えられます。

53件の倒産は半期だけの数字なので、年間倒産件数は、2020年の過去最高数だった118件を上回る可能性もあると、同社は指摘しています。

<続く>

(井出健二郎著「病医院会計のすべて」日本医療企画より)